日本惑星科学会秋季講演会レポート2006 ～ LOCな日々 in 神戸 ～

寺居 剛[1]

惑星科学会のみなさま，こんにちは．今年，非力ながら学会web担当兼秋季講演会実行委員会（LOC）を務めさせていただいた神戸大学の寺居と申します．10月18日から3日間に亘って開かれた神戸での秋季講演会は，過去最高の参加者数を記録しつつ，無事終了しました．このままお役御免かと思いきや，最後の最後に講演会のレポートを書くようにと仰せつかった（押し付けられた？）ので，秋季講演会の準備から閉幕に至るまでの過程と感想（というか苦労話）などをここでご報告致したいと思います．「怨みつらみを書いたらいいから」と言われているので，遠慮なく思いの丈を書かせていただきます．

1．嵐のような日々

「学会のwebのお仕事やってくれない？」

秋季講演会総務担当の中村昭子先生に笑顔でそう切り出されたのは，昨年の9月初め，院試が終わった次の日のことでした． 当時はweb管理の知識などかけらも持ち合わせていなかったので（まあ今でも大して持っていませんが），そんなハイテクな（？）仕事をやっていけるのか非常に疑問でした．が，「誰にでもできる仕事だから」と言われ，それならやってもいいかなーと特に深く考えもせずに気安く引き受けることにしたのが運の尽き．まさかこんなにも忙しく働くことになるなんて．完全に騙さ……いや，予想外でした．

そのような経緯で，今年1年間，惑星科学会のweb担当として学会ホームページの更新などの作業を行なうとともに，神戸大LOCとして秋季講演会開催準備の仕事に携わってきました．web更新の作業は慣れれば全然大変なことはないので5月中頃までは安穏と構えていたんですが，これは単なる嵐の前の静けさでした．

一番初めの大きな仕事は，秋季講演会ページを作成すること．当初は昨年のものを今年用に書き換えればいいや，などと簡単に考えていたんですが，ここからしてもう大きな間違いでした．ササッと作った仮ページにLOCメンバーのみなさんから指摘・注文が殺到．説明を正確かつ分かりやすいものに変えたり，レイアウトを見やすくしたり，強調する箇所は少しでも目立つようにしたりと，細かい手直しを何度も何度も重ねなければなりませんでした．またこんなときに限って学会の方からweb更新の仕事が舞い込んできたりするんです．発狂寸前でした（笑）．そしてようやく完成！かと思ったら今度は登録システムに不具合が見つかり，大慌てで対処することに（正確には対処をお願いすることに）．なんかもうこの頃はドタバタしっぱなしだったという印象しか残っていません．でも後になって

図1： 講演会場になった兵庫県立美術館

1. 神戸大学自然科学研究科

振り返ると，このおかげでweb担当としてだいぶ鍛えられたなあという感じがします．

いろいろ紆余曲折がありましたが，多くのみなさんのご協力によって晴れて 6 月15日，無事講演会ページを立ち上げ，申込み受付を開始することができました．大勢の人々の目に触れることになるホームページを一から作ったのはこれが初めてだったので，嬉しさが込み上げるとともに，やっとweb担当らしい仕事をしたなあという実感を持つことができた瞬間でもありました．これぐらいのことで何言ってるんだと言われそうですが，そこは大目に見てやってくださいませ．あ，ちなみに見事参加申込み 1 番乗りを果たした昭子先生は大喜びしてました（笑）．

講演会ページが完成してホッとしたのも束の間，今度は会場となる兵庫県立美術館（講演会場）とひょうご国際プラザ（受付＆ポスター会場）の下見に行くことに．あの辺りに行ったのはそのときが初めてだったのですが，震災復興後に造られただけあって，建物も道路もとてもきれいに整備されていることにびっくり（お越しになった方はお気付きになられたでしょうか？あの辺一帯は電線が地上に無いんですよ！）．美術館も国際プラザも想像以上にきれいで広々として気に入りました．そして何より，すぐそばには海が！講演会会場としてはなかなか素晴らしい環境だと思いました．これならみなさんに気持ち良く講演会に参加してもらえるだろうと確信しつつ，これは何としてでもいい講演会にしなければという思いを強めました．

2．笑顔，笑顔

それから4 ヶ月，LOCのみなさんのご尽力により準備は着々と進み，とうとう講演会前日を迎えました．前もって受付とポスター会場の準備をするべく，我々はたくさんの荷物を積み込んでひょうご国際プラザへ． ポスターボードを実際に並べてみて，ボード間のスペースにある程度ゆとりがあることが分かって安心

図 2： オーラルセッションの光景

しましたが，問題は受付に使う机の配置でした．初日の午前中に集中することが予想されたので（実際140名もの方が来られました），机 3 台を並べてなるべく多くの列を作れるようにする予定だったのですが，そこに思わぬ障害が．国際プラザの職員の方から，机を広げると一般の利用者の邪魔になるというクレームがついたのです．そのフロアで我々が借りているのは交流ギャラリーという一室だけで，その前からはあまりはみ出さないでほしい，ということでした．まあ，確かにその通りなんですが，しかしそれでは受付スペースがとても狭くなってしまいます．どうしようかと思っていると，その職員の方が「あのー，明日どれくらい人が来られるんですか？」とお尋ねになってきました．「たくさん来ます．200人くらいですね」「それはいろいろな所からお越しになる？」「はい，もう日本全国からです」

それを聞いた瞬間，職員さんは明らかに上機嫌になりました．「（満面の笑顔で）でしたら，こちらのパンフレットをぜひ置いてもらえませんでしょうか？」「（こちらも笑顔で）ええ，それはもちろん！たくさん置かせていただきますよー」取り引き成立．予定通りに机を並べることができることに．おかげで翌朝の受付は比較的スムーズにいきました．やれやれ．

3．いよいよ本番！

こうして受付とポスター会場は準備万端で当日に

臨んだわけですが，一方の美術館のほうは当日にしか入ることができず，会場のセッティングや調整は全てぶっつけ本番でした（下見のときに一応確認はしてるのですが）．しかも美術館は開館・閉館時間に厳しく，LOCが中に入れるのは9時45分になってから．オーラルセッションは10時20分から始まるので，30分ほどで準備を済ませてしまわなければなりません．ただでさえ発表者数が多くてぎちぎちのプログラムの中，何かトラブルがあればどうしよう……と戦々恐々でした．

しかし，ふたを開けてみるとプロジェクターも照明もマイクもみんな正常に機能してくれ，無事時間通り講演を開始することができました．また，各セッションでは座長のみなさまの手際よい進行により，大きな遅延もなく順調に進んでいきました．座長のみなさまには大変感謝しております．どうもありがとうございました．

オーラルセッション後に行なわれたポスターセッションのほうも，会場が少し離れているにもかかわらず多くの方にお集まりいただきました．あちらこちらで活発な議論を目にすることができ，頑張って準備してきた甲斐があったなあという思いでいっぱいになりました．

冒頭でもお伝えしましたが，今年の秋季講演会には過去最高の201名の方々にお越しいただきました．両セッションも懇親会も，非常に盛況だったと思います．本当に嬉しい限りです．参加してくださったみなさまに厚く御礼申し上げます．

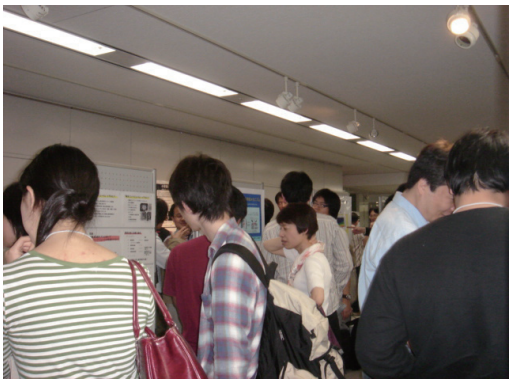

図3： 活気に満ちたポスターセッション

図4： 多くのみなさんにご参加いただいた懇親会

4．鉄は熱いうちに

さて，感慨に耽ってばかりもいられません．実際に講演会を進めていく中で，いくつかの課題・反省点が浮き彫りになりました．

まずは口頭発表の時間が12分（講演時間9分＋質疑応答3分）と短かったことです．もちろんこれは当初からわかっていたことではあったのですが，やはり参加者の方々からは不満が出ました．特に質疑の時間が極端に短く，十分な討論ができなかったことは否めないと思います．これは発表登録が141件と多かったことと，先程も述べたように会場を使える時間が限られていたためで，やむを得ずこのような時間になってしまいました．どうかお許しください．

次に，口頭発表の際の，パソコンの接続作業で少々混乱が生じました．切り替え器を用意して操作が円滑にできるようにしていたつもりだったのですが，実際は投影がなかなかうまくいかずに時間がかかり，講演時間をロスするというケースが多く見られました．また，ケーブルがごちゃごちゃしていたり，ピンマイクが1つしかなかったことも，混乱に拍車を掛けていたように思います．やはり事前にリハーサルができなかったことが痛かったです．あと，各セッションの前に接続チェックをしてくださるよう呼び掛けるのを，もっと徹底してするべきだったと反省しています．

それから，館内が飲食禁止だということで不便に感

じられた方も多かったとは思いますが，美術館の中でする以上，これはどうしようもありませんでした．

5．一般向け講演会

講演会最終日の翌日10月21日には，一般向け講演会「星屑からのメッセージ 探査機が見た小惑星・彗星の姿」が開かれました．神戸大の留岡和重先生には，「スターダスト」の最新の解析結果を交えながら，隕石や宇宙塵の研究からどんなことが分かるのかを，JAXAの川口淳一郎先生には，「はやぶさ」の着想から開発に至る経緯，運用時の様々な苦労話を技術的な面からマスコミへの対応まで，分かりやすくお話ししていただきました．約70名の方々（うち20人は学会・神戸大関係者でしたが）にご来場いただき，多くの質問が飛び交うとても楽しい講演会になりました．

図 5： 一般向け講演会の様子

6． 謝辞

最後になりましたが，本講演会開催にあたり，多くの方々のご協力をいただきました．特に，北大の林祥介先生および光田千紘さまには懇切丁寧にご指導いただき，大変お世話になりました．本当にありがとうございました．

気が早いようですが，来年の秋季講演会は高知大学にて開催されます．高知大LOCのみなさま，そして次期web担当の岩堀さま，大変だとは思いますがどうか頑張ってください！